

約8年間、皆さまに育てていただいた真備町の旧クリニック（ささべこどもクリニック）は平成30年7月の西日本豪雨で大きな浸水被害に遭いました。多くの方の支えがあって、西阿知あかちゃんこどもクリニックを無事に開業することができました。感謝とともに御礼申し上げます。

被災前のささべこどもクリニック

建物は古かったけど、中は綺麗に使用していました。あの日までは…



受付



待合室



キッズスペース



診察室



診察室内部



調剤室

被災直後のささべこどもクリニック

平成30年7月9日、ようやく院内に入れましたが、目の前に広がる惨状に言葉も見つかりませんでした。電子カルテ、エコー、その他の医療機器全て水没してしまい、やり場のない悔しさが残るばかりでした。周辺は全て住宅が冠水しており、子どもたちの無事が気がかりでした。



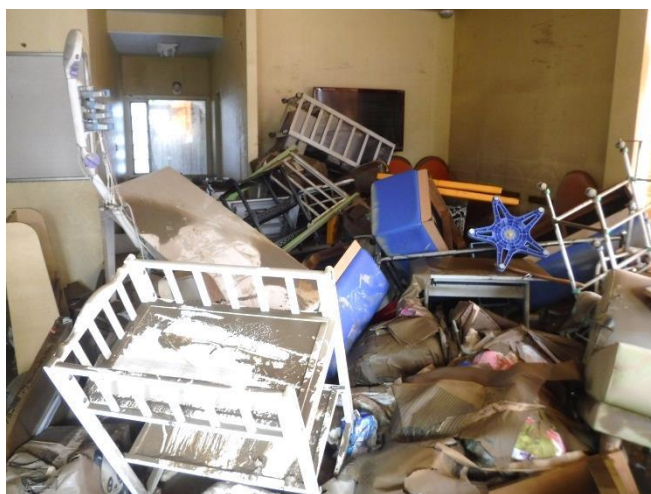
冠水したクリニック周辺



1階部分はほぼ浸水
この先にあるクリニックにはたどり着けなかった



惨憺たる受付



無残な待合室



泥だらけのレントゲン装置



水没した電子カルテのモニター

復興中のささべこどもクリニック

酷暑の中、汗だくになりながらスタッフ一丸となって片づけました。たくさんの人々に助けられ、支えていただいたおかげで、復興することができました。



復興にあたるスタッフ



水も引ききってない中での作業



被災した中でも笑顔のスタッフ



力を貸してくださった皆さん



力を貸してくださった皆さん



瓦礫を片づけたささべこどもクリニック